

WIND OF KOBE!

第738号

神戸運輸監理部情報

令和元年10月1日

国土交通省 神戸運輸監理部



今月の監理部情報・目次

- ◆ ラグビーワールドカップ開催前にテロ対策訓練を行いました 2
- ◆ 家島町坊勢でバリアフリー教室を開催しました 4
- ◆ フィジー共和国、パプア・ニューギニア独立国のPSC検査官受け入れについて 6
- ◆ 監理部写真コレクション 8
- ◆ 倉庫業の新規登録 9
- ◆ 倉庫業の変更登録 10
- ◆ 管内新造船手持ち工事量 11
- ◆ 船員職業紹介状況 12
- ◆ 主要業務指標 13
- ◆ 10月の行事予定 14
- ◆ 9月の記者発表状況 15

フォトミュージアム

「神戸ポートタワーと
神戸海洋博物館」

サブタイトル「WIND
OF KOBE!」は、湧き
起こる風の清新さをイメ
ージしています

神戸運輸監理部 総務課編集

◆ラグビーワールドカップ開催前にテロ対策訓練を行いました

ラグビーワールドカップ開催を控えた9月11日（水）、神戸運輸監理部と神戸旅客船協会は、早駒運輸（株）の神戸港内遊覧船「ファンタジー」と「かもめりあ」（中突堤中央ターミナル）において、外国人を含む約100人態勢でテロ対策訓練を行いました。

ラグビーワールドカップの見学に多くの外国人が訪れ、神戸でも9月26日から4試合が行われ、これに合わせて、メリケンパークでは大型ビジョンでのパブリックビューイングの設置など「ファンゾーン」が設けられます。それに伴って、近隣の「かもめりあ」も多くの人で賑わうことが予想されるため、この訓練では、テロが発生した場合の避難誘導や関係機関への情報伝達がスムーズに行われるよう初動体制を確認しました。

「かもめりあ」内の神戸シーバス事務所に犯人から「ファンタジー」と「かもめりあ」に爆弾を仕掛けたと電話があり、実際に警察、消防、海上保安庁に通報し、航行中との想定である「ファンタジー」にも電話連絡するなど情報伝達訓練を行いました。

次に、「ファンタジー」船長が、日本語と英語による船内放送で状況を説明し、船員は乗客役の旅客船事業者の方々に救命胴衣を着用させました。「ファンタジー」が着桟後、係員が旅客を安全な場所に避難させた後、海上保安官は船内搜索を行いました。



船員が旅客に救命胴衣の着用を説明



船員による避難誘導



海上保安官による船内搜索

また、「かもめりあ」では、日本語と英語による館内放送で状況を説明し、係員が旅客を安全な場所に避難させた後、警察官が館内を搜索しました。

今回の訓練では、現在起こっていることは何かを知ってもらうため、参加者全員に電話などの内容や避難誘導の放送などが、「ファンタジー」と「かもめりあ」の2か所の会場内全体に聞こえるよう工夫しました。



消防隊による放水準備



かもめりあからの避難誘導

今後も、このような訓練を通して、旅客運送事業に携わる方々の安全意識の更なる高揚と、万一のテロ災害等に備え、海事関係機関の一層の連携強化が図られることを期待します。

(海上安全環境部 運航労務監理官)

◆ 家島町坊勢でバリアフリー教室を開催しました

神戸運輸監理部交通環境室では、兵庫県内の小中学生を対象にバリアフリー教室を開催しており、自ら高齢者や障害者の疑似体験や介助体験をすることで、バリアフリーの必要性を理解するとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者や障害者に対して自然に快く「お手伝いしましょうか」と声をかけてサポートのできる「心のバリアフリー」を推進しています。

今回は、令和元年9月26日（木）に坊勢汽船株式会社の協力を得て、姫路市立坊勢中学校の1年生21名を対象にバリアフリー教室を開催しました。

午前中は、同校で事前講義を行い、身近にある障壁（バリア）やそれをなくす（フリー）工夫等の説明を通して、心のバリアフリーについて理解を促しました。



事前講義の様子



車いす体験の様子

午後には、坊勢島の玄関口である港に移動し、昨年3月にバリアフリー化に整備された旅客船ターミナル「坊勢漁港ふれあいプラザ」において、車いす体験と視覚障害体験を行いました。

車いす体験では、監理部職員が操作方法や介助の際の注意点を説明後、2人1組で自走体験と介助体験を行いました。実際に車いすに乗り、段差やスロープ等を体験することで、身近にあるバリアを具体的に学びました。また、施設内のバリアフリー対応トイレや切符売り場カウンターを体験し、バリアフリー設備の必要性を理解しました。

視覚障害体験では、アイマスクと白杖を用いて誘導用ブロックや声かけを頼りに歩く体験を行いました。「ストップ！左に曲がって」といった具体的な声かけも聞こえ、点字ブロックの有用性のみならず、音声案内の重要性も理解してもらえたのではないかと思います。

最後の体験では、姫路～坊勢航路を走る旅客船「クイーンぼうぜ」を使用し、坊勢汽船株式会社の社員が講師となり、車いす利用者が乗降する際の介助等について説明と手本を示してもらった後、生徒が順番に乗降体験をしました。

さらに、旅客船の室内では、車いす利用者の安全を確保するための車いすを固定する設備・方法について説明を受けました。

各体験中に、事前講義で説明したことに気をつけていた生徒もあり、体験だけではなく事前講義を行うことで、身近にあるバリアの理解をより深めることができました。



視覚障害体験の様子



車いすでの乗降体験の様子

閉校式では、神戸運輸監理部姫路海事事務所長と坊勢汽船株式会社からの講評に、生徒たちは真剣に耳を傾けており、本教室を通して障害者や高齢者の気持ちを理解するとともに、適切な介助方法を学ぶことで、自然に「お手伝いしましょうか」と声をかけられるようになったことと思います。

交通環境室では、今後も関係者と連携を図りながら、「心のバリアフリー」の推進を図っていきます。

（企画推進本部 交通環境室）

◆フィジー共和国、パプア・ニューギニア独立国の PSC 検査官受け入れについて

神戸運輸監理部海上安全環境部外国船舶監督官では、9月2日から11日までの間、東京 MOU が主催する PSC 検査官一般訓練コース（GTC：General Training Course）を受講している外国人研修生を受け入れ、船上実地訓練を行いました。

GTC は東京 MOU メンバー国及び国際海事機関（IMO）の招聘による他地域 MOU の初級又は中堅検査官を対象として、PSC に関する基礎的な知識の習得及び実地訓練により実際の PSC 経験を積ませ、各国が適切な PSC を実施することを目的に我が国において実施するものです。

GTC は 2011 年から実施しており、今年度は 22 カ国から 22 名の研修生が受講しました。

GTC は最初に 2 週間、横浜で各国際条約について座学を受講します。この際、神戸運輸監理部を含む全国の PSC 検査官が講義を行います。その後、2～3 名に分かれて各地方運輸局等において船上実地訓練を行っています。

今年度、神戸運輸監理部ではフィジーとパプア・ニューギニアの PSC 検査官を受け入れ、神戸港をはじめ東播磨港、尼崎港において合計で 6 隻の船舶で PSC 検査に関する船上実地訓練を行いました。外国人研修生からは書類や記録簿等における確認すべきポイントや、機器等についての構造について質問が出され、神戸の PSC 検査官がわかりやすく簡潔に説明を行うとすかさずメモを取るなど真摯な態度で訓練に臨んでおりました。

私どもにとりましても、外国人研修生は過去に船員の経験がある方が多いことから積極的に意見交換や技術交流を図ることにより、日本の PSC 官にも多くの”気づき”を得ることができる貴重な機会でもあります。また、船上実地訓練以外でも積極的に外国人研修生と交流することにより彼らに親近感を感じるようになり、国際交流による相互理解を進める場でもあると感じています。

当外国船舶監督官は今後も積極的に外国人研修生を受け入れ、国際交流、国際貢献を進めていきたいと思っております。

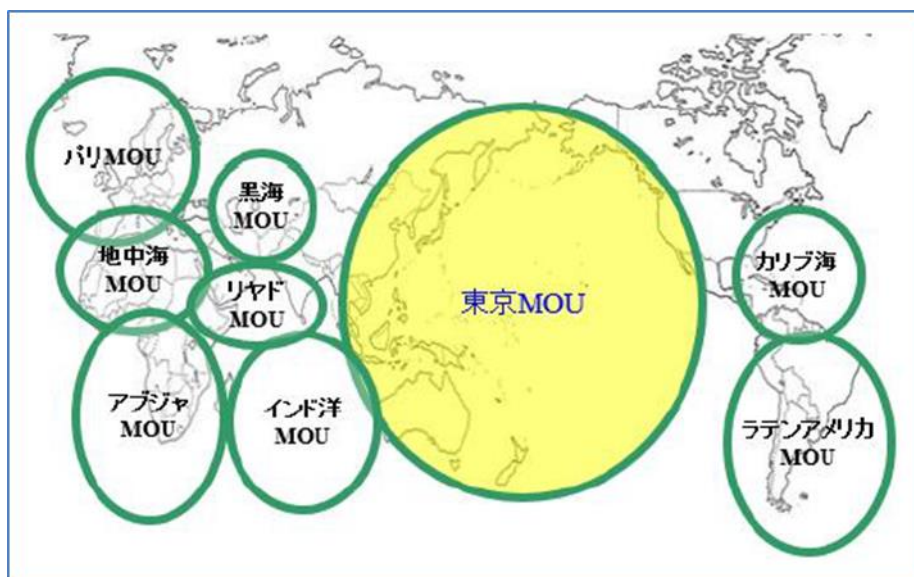


注：【PSC とは】

国際航海に従事する船舶については、航行の安全確保と船舶による海洋環境汚染防止のために様々な国際基準が定められています。しかしながら、これらの国際基準に適合しない状態で運航している船舶がいるため、日本では地方運輸局等の外国船舶監督官等が我が国の港湾に入港した外国船舶に立ち入り、構造・設備等が国際基準に適合しているか検査し、確認しています。この立ち入り検査が、寄港国による監督、PSC (Port State Control : ポートステートコントロール) です。

船舶は世界中を航海することから、国際的協調の下で PSC を実施することがより効果的であると考えられており、世界各地に PSC に関する地域協力体制*1 が構築されています。アジア太平洋地域の PSC 協力体制である、東京 MOU*2 では、毎年、域内の検査手順の平準化と検査能力の向上等を目的として、PSC 検査官 (PSCO : Port State Control Officer) のための研修 (GTC) を主催しており、その中で各地方運輸局等において PSC の実地訓練が行われます。入港中の限られた時間で実施される PSC 検査については、相当の知識と経験が必要であるため、神戸運輸監理部においても、神戸港に停泊中の外国船舶を舞台に、外国船舶監督官が外国人研修生に対して実地訓練を行うと共に、意見交換等による各国検査手法等の共有により相互に検査技術の向上も図ります。

*1 世界各地の PSC 協力体制



*2 東京 MOU

アジア・太平洋地域の国々が協力して効果的な PSC を実施するために、1993 年 12 月に東京において結んだ覚書 (Memorandum of Understanding : MOU)。事務局 (公益財団法人東京エムオウユウ事務局) を東京に置いているため、「東京 MOU」の名称が使用されています。

我が国は同 MOU の主要メンバーであり、設立当初から国土交通省が講師派遣や研修生受入等の支援を行っています

正規加盟国・地域：

オーストラリア、カナダ、チリ、中国、フィジー、香港、インドネシア、日本、韓国、マーシャル諸島、マレーシア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、フィリピン、ロシア、ペルー、シンガポール、タイ、バヌアツ、ベトナムの 20 カ国・地域

準加盟国：パナマ

◆監理部写真コレクション

神戸運輸監理部の管轄区域である兵庫県内のトピックを写真でご紹介します。

○ポートアイランドにて撮影



7月にポートアイランドしおさい公園に完成した「BE KOBE」のモニュメント第2号。日中と夕日が差し込む時間帯とではまた趣が異なります。

神戸港メリケンパークの「BE KOBE」モニュメント第1号とともに、撮影スポットとして人気を博しています。

○洲本港で行われた救助訓練の様様



9月24日、海中転落者救助訓練（大阪湾パイロットボート（株）主催）に、神戸運輸監理部長ならびに神戸運輸監理部職員が参加しました。

海中転落した水先人を救出しながら関係各所に連絡するという内容で、臨場感のある訓練だったそうです。

（総務企画部総務課）

◆ 倉庫業の新規登録（令和元年8月）

【 事業者名 】 東部ネットワーク株式会社

所在地	神奈川県横浜市神奈川区栄町2番地の9		代表者	代表取締役社長 若山 良孝	
倉庫の概要	倉庫の名称	東部神戸物流センター			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市北区赤松台一丁目1番地8	
	構 造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造、ALC板張、ガルバリウム鋼板折板葺、地下1階地上4階建（耐火建築物）			
	面 積	13,692㎡	登録年月日	令和元年8月23日	

【 事業者名 】 さくらオートマット株式会社

所在地	兵庫県西宮市山口町阪神流通センター1丁目50番地		代表者	代表取締役 吉川 正義	
倉庫の概要	倉庫の名称	さくらオートマット株式会社			
	類 別	野積倉庫	位 置	西宮市山口町阪神流通センター1丁目50番	
	構 造	鉄骨造、亜鉛メッキ銅板葺、2階建			
	面 積	469㎡	登録年月日	令和元年8月27日	

【 事業者名 】 大洋運輸株式会社

所在地	兵庫県神戸市中央区港島7丁目6番地		代表者	代表取締役 鈴木 敏幸	
倉庫の概要	倉庫の名称	大洋運輸株式会社 ターミナル倉庫			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市中央区港島7丁目15番1	
	構 造	鉄骨造、ALC版張、折板葺、平屋建（耐火建築物）			
	面 積	2,331㎡	登録年月日	令和元年8月27日	

◆ 倉庫業の変更登録（新設）（令和元年8月）

【 事業者名 】 F-LINE株式会社

所在地	東京都中央区八丁堀三丁目3番5号		代表者	代表取締役社長執行役員 深山 隆		
倉庫の概要	倉庫の名称	西日本物流センター神戸倉庫				
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市西区見津が丘7丁目1番3号		
	構 造	鉄骨造、金属断熱サンドイッチパネル張、アルミ亜鉛メッキ鋼板折板葺、4階建（耐火建築物）				
	面 積	19,659㎡	登録年月日	令和元年8月19日		

【 事業者名 】 京セラ株式会社

所在地	京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6番地		代表者	代表取締役社長 谷本 秀夫	
倉庫の概要	倉庫の名称	西日本神戸物流センター			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市西区見津が丘七丁目1-3	
	構 造	鉄骨造、断熱パネル張、アルミ亜鉛めっき鋼板折板葺、4階建（耐火建築物）			
	面 積	11,517㎡	登録年月日	令和元年8月20日	

【 事業者名 】 株式会社増田製粉所

所在地	兵庫県神戸市長田区梅ヶ香町1-1-10			代表者	代表取締役社長 伊藤 勇
倉庫の概要	倉庫の名称	3・4号倉庫			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市長田区梅ヶ香町1丁目27-5	
	構 造	鉄骨造、アルミ亜鉛合金板張、アルスター鉄板折板葺、平屋建（準耐火建築物）			
	面 積	1,301㎡	登録年月日	令和元年8月23日	
倉庫の概要	倉庫の名称	7号倉庫			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市兵庫区南通5丁目5-2	
	構 造	鉄骨造、アルミ亜鉛合金板張、アルミ亜鉛合金折板葺、2階建（準耐火建築物）			
	面 積	257㎡	登録年月日	令和元年8月23日	

【 事業者名 】 丸紅ロジスティクス株式会社

所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目13番地		代表者	代表取締役 栗原 剛	
倉庫の概要	倉庫の名称	神戸物流センター2号棟			
	類 別	一類倉庫	位 置	神戸市北区赤松台一丁目1番8	
	構 造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造、ALC板張、ガルバリウム鋼板葺、地下1階地上4階建（耐火建築物）			
	面 積	12,705㎡	登録年月日	令和元年8月27日	

◆ 管内新造船手持ち工事量

令和元年8月末現在

区 分		隻 数	総トン数	載貨重量トン数
国内船	工事中	1	8,000	2,000
	未起工	0	0	0
輸出船	工事中	0	0	0
	未起工	0	0	0
工 事 中 計		1	8,000	2,000
未 起 工 計		0	0	0
手持ち工事量合計		1	8,000	2,000
前年同月比		-	-	-

（注）①総トン数2,500トン以上又は長さ90メートル以上の一般商船（旅客船を除く）で、建造着手予定届が提出された船舶もしくは臨時船舶建造調整法に基づく建造許可を受けた船舶を対象とする。

②[内訳] その他（液化水素運搬船） 1隻

（海事振興部 船舶産業課）

◆ 船員職業紹介状況（令和元年8月）

最近3か月間の船員職業紹介実績表

（単位：人）

区 分	月 別	令和元年	令和元年	令和元年
		6月	7月	8月
合 計	求 人 数	15	55	28
	求 職 数	20	15	17
	求 職 者 成 立 数	1	6	5
外 航 船	求 人 数	0	0	0
	求 職 数	0	0	0
	求 職 者 成 立 数	0	1	0
内 航 船 （旅客船を含む）	求 人 数	13	49	23
	求 職 数	15	9	11
	求 職 者 成 立 数	1	2	1
その他船舶 （曳船・作業船等）	求 人 数	2	5	5
	求 職 数	4	6	5
	求 職 者 成 立 数	0	2	4
漁 船	求 人 数	0	1	0
	求 職 数	1	0	1
	求 職 者 成 立 数	0	1	0
有効求人倍率（倍）		1.64	2.16	1.91

最近3か月間の船員の失業給付金支給実績

月 別	令和元年	令和元年	令和元年
区 分	6 月	7 月	8 月
失業給付金受給者実数（人）	6	8	7
失業給付金支給額（千円）	1, 6 4 3	1, 0 3 2	4, 0 5 6

※失業給付金受給者実数とは、当月中に失業給付金を支給した者の実数である。

（海事振興部 船員労政課）

◆ 主要業務指標

(令和元年 9 月)

			実 績	前年同月比
1. 管内発着フェリー・旅客船方面別輸送量 (令和元年7月分)	九 州	旅 客	47,869人	110.5%
	方 面	車 両	31,395台	99.4%
	淡路四国	旅 客	101,618人	97.6%
	方 面	車 両	22,668台	97.8%
2. 神戸港起点遊覧船乗船者数 (令和元年7月分)	総 数		39,379人	109.6%
	内：レストランシップ ^②		22,048人	106.9%
3. 神戸港内貿貨物量【速報値】 (令和元年5月分)	純 内 貿 貨 物 量 (フェリー・貨物除く)		584千 ^ト	90.5%
	中 継 貨 物 量		509千 ^ト	88.6%
4. 神戸港コンテナ船入港隻 (令和元年5月分)			326隻	92.9%
5. 神戸港外貿コンテナ貨物取扱量【速報値】 (令和元年5月分)	総 量		183,025TEU	93.1%
	内：トランシップ ^⑤ 貨 物		395TEU	35.6%
	内：内航フィーダ ^⑤ 貨 物		21,593TEU	96.6%
6. 神戸港港湾労働者数【速報値】 (令和元年8月末現在)	総 数		5,569人	100.2%
	内：船 内		1,175人	96.4%
	内：沿 岸		3,543人	101.0%
7. 神戸市内倉庫貨物入庫量 (令和元年7月分)	普 通 倉 庫		495千 ^ト	113.2%
	冷 蔵 倉 庫		100千 ^ト	98.9%
8. 神戸市内倉庫貨物保管残高 (令和元年7月分)	普 通 倉 庫		964千 ^ト	101.0%
	冷 蔵 倉 庫		183千 ^ト	105.3%

(注) ① 3. の中継貨物量は、神戸港輸入貨物を国内他港へ移出したものと及び神戸港輸出貨物で国内他港から移入したものである。

② 5. のトランシップ貨物は、外航船で輸送して来た貨物を神戸港で他の外航船に積み替えて輸送したものである。

③ 5. の内航フィーダ貨物は、神戸港で取り扱った外貿コンテナのうち、国内他港に移出したものと及び国内他港から移入したものである。

④ 3. 4. 5. の資料出所は、神戸市みなと総局であり、6. の資料出所は、神戸公共職業安定所神戸港労働出張所である。

⑤ 7. 8. の資料出所は、兵庫県倉庫協会及び兵庫県冷蔵倉庫協会である。

(総務企画部企画課、海事振興部旅客課、貨物・港運課)

◆ 10月の行事予定

日 程	行 事 / 場 所		担 当 課
1日(火)～ 11月15日 (金)	令和元年10月定期海技士国家試験		海上安全環境部 船員労働環境海技資格課
	／	神戸第2地方合同庁舎	
4日(金)	出前授業		海事振興部 船員労政課 ※主催は神戸海事地域人 材連携協議会
	／	神戸市立好徳小学校	
6日(日)	帆船「みらいへ」体験航海		海事振興部 船員労政課
	／	神戸中突堤「かもめりあ」発 ※行先未定	
6日(日)	バリアフリー教室		企画推進本部 交通環境室
	／	しあわせの村	
21日(月)	バリアフリー教室		企画推進本部 交通環境室
	／	明石市立藤江小学校	
25日(金)	近畿地方交通審議会神戸船員部会		海事振興部 船員労政課
	／	神戸第2地方合同庁舎	

(総務企画部 総務課)

◆ 9月の記者発表状況

日程	発表事項	担当部課
3日	モーダルシフトの需要は継続、自動車輸送は7年連続で増加 ～平成30年度の管内旅客船等輸送実績（確定値）～	海事振興部 旅客課
3日	訪日外国人も安心して観戦、観光を！ ～ラグビーワールドカップ開催前にテロ対策訓練～	海上安全環境部 運航労務監理官
9日	令和元年版国土交通白書等説明会を開催します	総務企画部 企画課
20日	「お手伝いしましょうか」と言える社会へ！ ～明石市立小学校でのバリアフリー教室に注力～	企画推進本部 交通環境室
20日	島民生活に欠かせない旅客船で学ぶ「心のバリアフリー」！ ～坊勢島でバリアフリー教室を実施～	企画推進本部 交通環境室
20日	自動車検査証等の誤交付について	兵庫陸運部 登録部門
27日	旅客船利用者のための新たな試みへ ～姫路～家島航路の利用者増加へ、10月より実証実験スタート～	総務企画部 企画課

（総務企画部 広報対策官）

少しずつ肌寒くなり、いよいよ秋の訪れかな～とワクワクしています。

と言いつつ、こうべえは季節の変わり目に風邪を引いてしまいました…。皆さまくれぐれもご自愛ください。



神戸運輸監理部マスコットキャラクター

「こうべえ」